

町の主な統計 (17)

農家数と出かせぎ者の傾向表

調査年月日	総数	専業	一兼	二兼	出かせぎ者数
41.2.1	1,922戸	戸	戸	戸	644人
専兼割合	100%	%	%	%	100%
42.2.1	1,918	190	778	950	624
〃	100	10	41	49	3%
43.2.1	1,900	156	854	890	548
〃	100	8	45	47	14
44.2.1	1,898	151	829	918	541
〃	100	8	44	48	16

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
 電話 (018876) 代 2100番 毎月 1日発行
 印刷所 小浜印刷所 電話 (018876) 2605番 (1部5円)
 昭和37年12月5日第3種郵便物認可 郵便番号 018-17

・秋田県五城目町・

※ 町政と町民をむすぶ広報紙



教育の諸問題を熱心に討議する教育関係者

第6回教育振興大会

9月12日の教育振興大会、町の教育関係者が一堂に会し、教育の現状について熱心に討議しあつた。

教育功労表彰に渡辺五城目幼稚園長

教育委員会から長年の労苦と教育振興に寄与した功労により表彰をうけた。



表彰を受ける渡辺正さん

<10月のおもな行事>

- 7日 青少年問題協議会委員会 11~12日 全県OB野球大会 五一中
 13日 農業委員会総会第一会議室 15日 明るい職場づくり研究集会中公
 17日 中級職員研修会第一会議室 町功労者証明会 応接室
 25日 消防幹部会 26日 全町スポーツ少年大会五一中
 27日~31日 決算監査委員会 応接室 29日 元議員との懇談会

秋にちなんで思いつくまま
 曰く天高く馬肥への秋、と
 り入れの秋、味覚の秋、そして
 食欲の秋、また農家はふところ
 を
 具合最良の秋、秋の七草(思い
 出されるは新米のキリタンボ舞
 舟とセリを入れたあの味合い)
 デパート、商店、自動車のデ
 ラーは農家のふところをねら
 うの秋、金融関係機関は預金增
 強の秋、国県市町村では納税強
 調の秋、文化面では、芸術の秋
 読書の秋、体育祭の秋等々で日
 本の秋ならではの感深し

収入役

レジャーとはカツコイイアソ
 ピゴトと、お考へになつてゐる
 御仁がもしおりましたら御一考
 見した。
 レジャーとはカツコイイアソ
 ピゴトと、お考へになつてゐる
 御仁がもしおりましたら御一考
 見した。

日本の経済力は国際的な仲間
 入りが出来るような経済大国に
 なつた今日量質ともに真に豊な
 繁栄の実現もそう遠くないこと
 思われるが、エチケットの点で
 はどうもそれはいかない嫌いが
 ある。このへんで「衣食たつて
 礼節を知る」に思いを記し名実
 ともに堂々と国際的な仲間間
 の出来る日の早からんことを希
 うもの。

広報
サロン

町議会九月定例会

補正予算など可決

町議会九月定例会は九月十七日招集され、九月二十二日までの六日間、二十一日は日曜日だったので實質五日間、役場第一会議室で開かれた。

議案が各町長に於て説明され、委員會付託同審議で二十日間まで続き、翌二十一日は日曜日で休業、二十二日本会議を開き委員長報告、質疑を経て全議案を議決し、六日間の町議会九月定期会を終った。

今議会で可決した議案は町長提出十一件、陳情請願は継続審査中のもの加えて十件、内採択六、継続審査で四でした。

一般質問、議案陳情のおもなものは次のとおりです。

一般質問は伊藤与四郎議員から

はじまり、ます、長期計画策定にあたって住民の意志をどのように方法で反映されるか。
これに対して町長は、町民とともに町政を進めて行く心構えで、議会ははじめ各種団体、それに移動町民室を設けて検討したいと思つてゐる。
また種田交換会の誘致と受入体制について質問した。
町長はこの催しを有利に生かすことを考えたい。窓口を企画室にして町の各方面に生かされるよう進めさせていたい。
次に齊藤明議員が、用たし運動のねらいと用をたしやすい町にするための環境の整備について。
これに対して町長は経済性を行政で操作することは不可能である

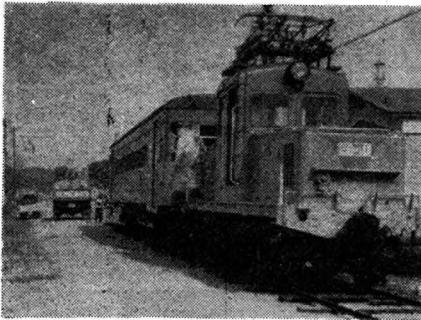
島山勘五郎
線について答
町長はこれで
を公共事業、
いま八郎湯瀬
どつてゐる。
するとの話で、
さらに再折衝
最終質問で、
地盤北ノ又バ
いて質問して
中央交通で検
町長は合地の
と思う。更に
と答えた。
▼五城目町立
六月定期会
いたもので、
され、これに
校から富津市立

貴に質問した。八郎潟地内五城目地区内を県単位で、内に用地購入に手間を要する。九月県会で予算計上してあるが、いがついている。議論を進める。合意の分銅良一議員は、乗入れの実況について、乗入れについて検討していると考える。会社に働きかけたい。小学校となる。

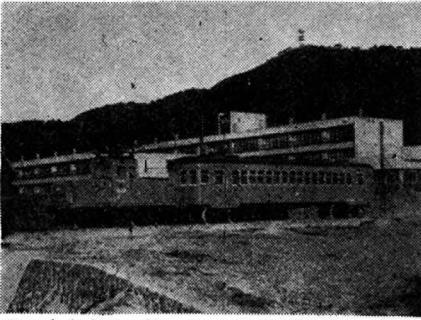
▼ 昭辰橋かは
去る七月二十一
の一部が流さ
で現在通行止と
では耐久度の點
を考えて昭辰橋
てほしいといふ
調に進んでいま
上水道事業特
果、事業収益
円、事業収益
三八円で差引
円の利益金が生
これによつて本
町によって本町
事務特別会計に
上水道事業特
果、事業収益
円、事業収益
三八円で差引
円の利益金が生
これによつて本
町によって本町

年度五城目町上水道
決算認定
特別会計は決算の結果
一九、六七九、〇二
用一六、〇九五、九
三、五八三、〇八一
生じてゐる。
財政再建計画は順
りと認定された。
けかえについて
十九日の大水で橋脚が倒
れ、大変危険な状態にな
っている。木橋の懸念が
あり防災などを
橋を永久橋に架替える
つもの。

<p>新谷国太郎氏</p> <p>監査委員に</p> <p>町議会九月定例会で十月五日に任期満了になる町監査委員に現監査委員の新谷国太郎氏が選任された。新谷氏は二度目の務めとなります。</p> <p>昭和二十年三月東北学園大学卒 略歴</p> <table border="0"> <tr> <td>二十四年三月 入社</td><td>九月秋木機械製作所へ</td></tr> <tr> <td>二十四年二月 税理士</td><td>同</td></tr> <tr> <td>三十一年五月 五城目町監査委員</td><td>退社</td></tr> </table>		二十四年三月 入社	九月秋木機械製作所へ	二十四年二月 税理士	同	三十一年五月 五城目町監査委員	退社
二十四年三月 入社	九月秋木機械製作所へ						
二十四年二月 税理士	同						
三十一年五月 五城目町監査委員	退社						



山手線をいく電車



秋田中央交通の計いで、町に寄贈された電車は
9月16日午前3時を期して移動作業開始し山
手線を通り、小学校入口に1泊して翌17日無
事五城目小学校に納った。

老人ホームでロータリーの例会 庭園年次計画で整備



五城目ロータリークラブは先に老人ホーム玄関前に庭園（友愛の園）を寄贈し、施設の老人達は勿論、施設を訪れる一般の人たちからも明るい感じを与えようろこぼれています。例会は更に空地にも庭園を年次計画でつくることを決めた。

工藤・小熊の両氏を推薦するに一致で推薦することにし
て、人権擁護委員に工藤善正（滝ノ下）、小熊正直（大川）の両氏を法務大臣に推薦することに意見を求めていたもので満場一致で推薦することにし
月に任期満了になつていた。町議会九月定例会で六

監査委員に

新谷国太郎氏

が買う側と売る側の状況をよくするための機会をつくる。むずかしいものであるが、やらないよりやるに勝る。

なお事務上の関係で四月一日から施行されることになっている。

▼ 大川小学校舎改築について

五城日野の
100年

12

消防の記録(2)

小野一

江戸時代末「火防組」が組織されたのが、消防のはじまりといわれているがはつきりしない。新しい明治の時代にまで続いたかどうかかも判明しない。

また今日の消防団のはじまりである消防組の創設は明治七年といふ。頭取は平岡金四郎・副頭取石郷岡八重蔵と伝えられているが、これも詳細は不明だ。県の認可をうけたのは明治九年十一月二十四

心身ともに健康で、たくましい体力をもつことは、わたしたちの幸福のもとであります。体力健康づくりの浸透をはかるために家族そろってスポーツに親しむようにしましょう。

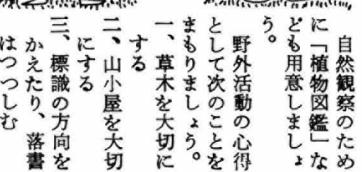
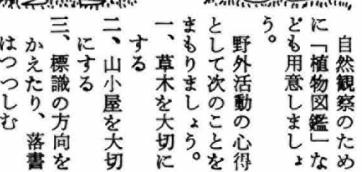
10月10日は国民の祝日の「体育の日」であり、また「秋田国体記念スポーツ週間」にもあたっておられます。この日を機会にくらしの中にスポ



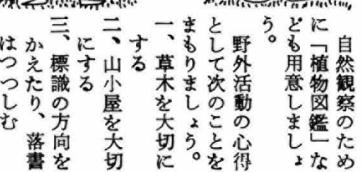
歩くことが少なくていい。
このごろは生活様式の合理化や交通機関の発達で、わたしたちは歩くことが少なくていい。

いつもをとり入れましょ。なお毎週土、日曜日に「歩こう会」の主催で名所旧蹟をたずねながらの歩行運動をおこなっておりますのでぜひご参加ください。

○歩行運動 このごろは生活様式の合理化や交通機関の発達で、わたしたちは歩くことが少なくていい。



自然観察のため



に「植物園鑑」なども用意しました。

一、草木を大切に

二、する

三、標識の方向を

はつてしま

として次のことを

まもりましょう。

一、草木を大切に

二、する

三、標識の方向を

はつてしま